

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。6月に「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」を公表した（詳細は2020年8月号参照）。

令和元砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：180万8000トン（前回見通しから7万1000トン減）

総供給量：179万1000トン（同5万3000トン減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：50万8000トン（同2000トン増）

【異性化糖】

消費量および供給量：76万2000トン（同6万9000トン減）

表1 令和元砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合 計	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,835	485.3	412.1	410.8	461.8	1,770	
	含みつ糖	36	6.9	12.8	10.8	7.5	38	
	合 計	1,872	492.2	424.9	421.6	469.3	1,808	
供給量	国内産糖	分みつ糖	734	348.0	399.0	29.7	-	777
		含みつ糖	11	1.2	9.0	2.4	-	13
		小計	745	349.2	408.0	32.1	-	789
	輸入糖	分みつ糖	1,146	316.4	160.6	285.1	230.4	992
		含みつ糖	9	1.7	3.3	2.9	0.9	9
		小計	1,155	318.1	163.9	288.0	231.3	1,001
	合計	分みつ糖	1,880	664.4	559.6	314.8	230.4	1,769
		含みつ糖	20	2.9	12.3	5.3	0.9	21
		小計	1,900	667.3	571.9	320.1	231.3	1,791
	期末在庫		332	501.5	630.4	532.7	294.6	295

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和元砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合 計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	519	138.4	120.4	121.7	127.9	508
供給量	519	138.4	120.4	121.7	127.9	508

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：改正糖価調整法（2018年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和元砂糖年度の消費量は、平成30砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和元砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	824	182.0	185.7	206.4	187.8	762
供給量	824	182.0	185.7	206.4	187.8	762

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

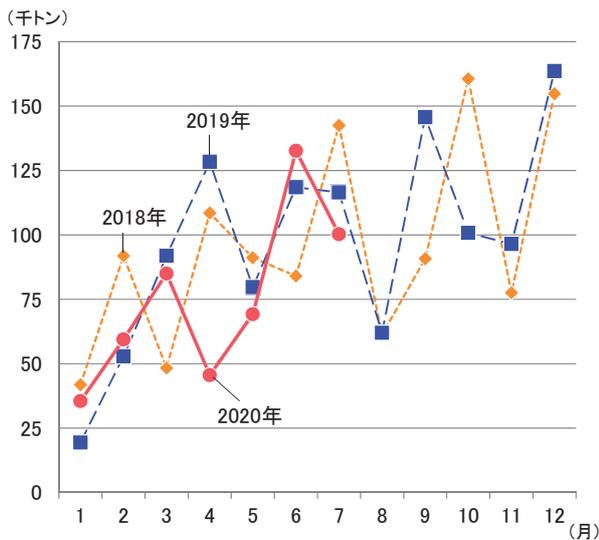
7月の輸入量は前年同月からかなり大きく減少

財務省「貿易統計」によると、2020年7月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、10万288トン（前年同月比13.9%減、前月比24.4%減）であった（図1）。

輸入先国は豪州で、国別の輸入量は次の通りであった（図2）。

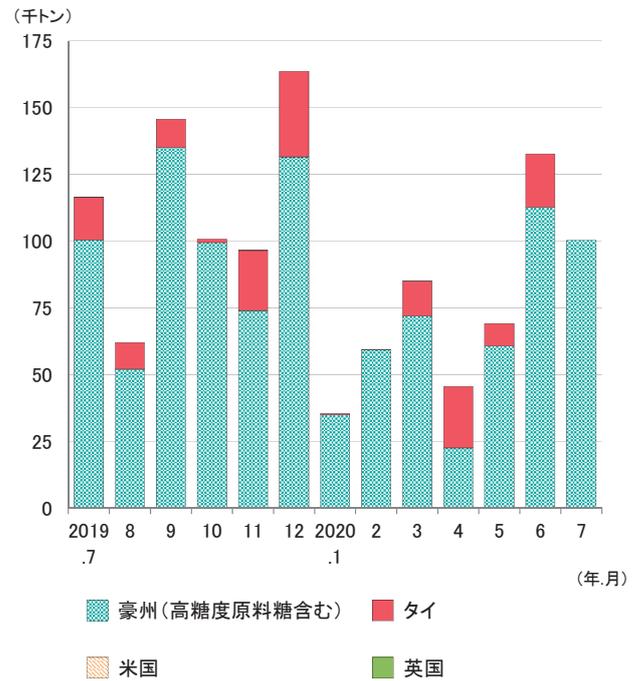
豪州 10万288トン
（前年同月比0.2%減、前月比11.0%減）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

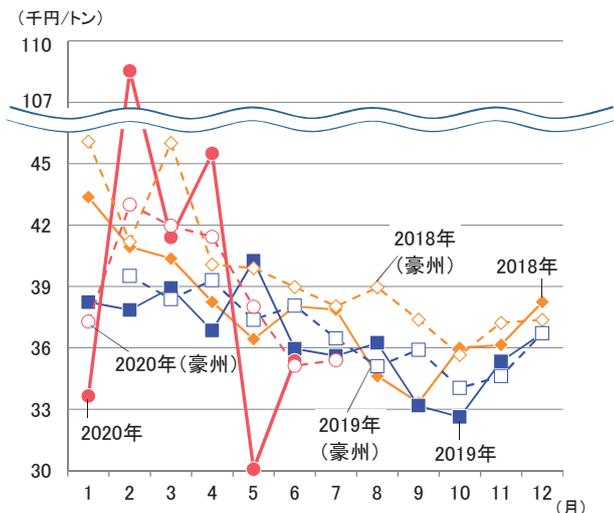
図2 粗糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2020年7月の甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、3万5396円（前年同月比2.9%安、前月比0.8%高）であった（図3）。

図3 粗糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注1：実線はHSコード1701.14-110、点線はHSコード1701.14-200（豪州のみ）。

注2：2019年1月は1701.14-200の豪州からの輸入実績なし。

注3：2020年7月は1701.14-110の輸入実績なし。

【含みつ糖の輸入動向】

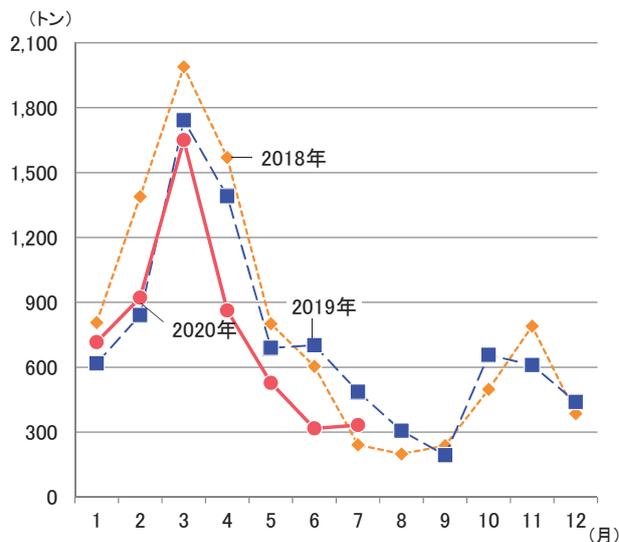
7月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2020年7月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、333トン（前年同月比31.6%減、前月比5.0%増）であった（図4）。

輸入先国は中国、フィリピン、タイ、モーリシャスおよび台湾の5カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図5）。

中国	228トン
（前年同月比40.5%減、前月比33.3%増）	
フィリピン	63トン
（同3.1%減、同75.0%増）	
タイ	21トン
（前年同月同、同76.7%減）	
モーリシャス	20トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	
台湾	1トン
（前年同月比94.4%減、前月輸入実績なし）	

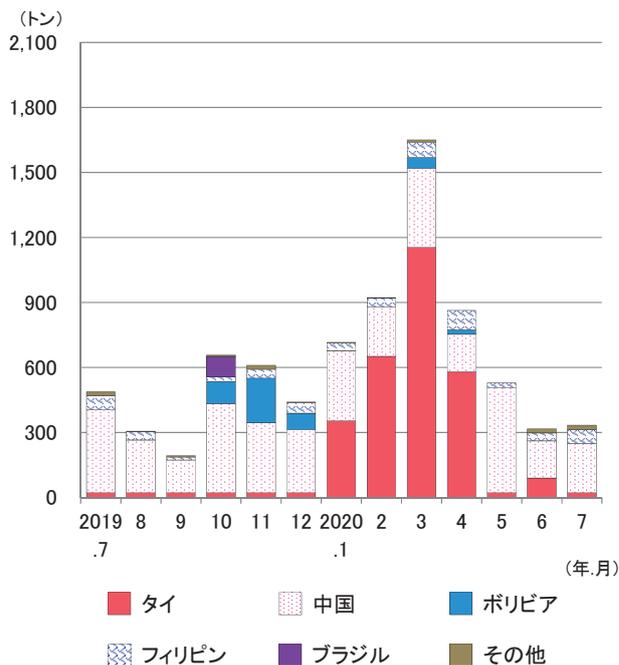
図4 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図5 含みつ糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

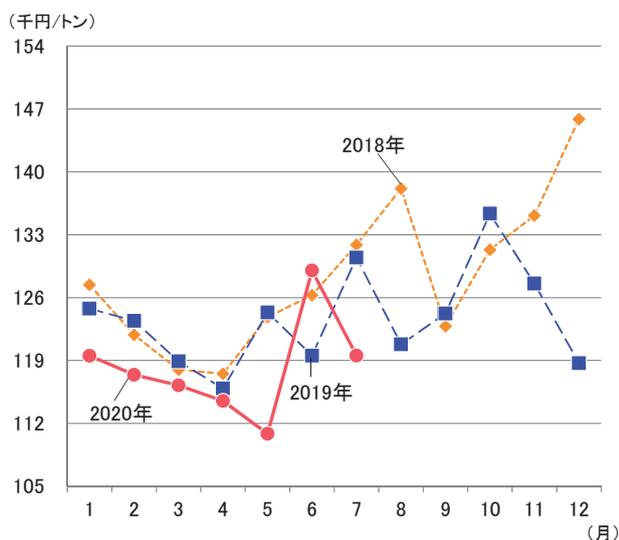
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2020年7月の1トン当たりの輸入価格は、11万9541円（前年同月比8.4%減、前月比7.3%減）であった（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	11万8325円
	(前年同月比3.1%安、前月比3.7%安)
フィリピン	14万7968円
	(同0.8%安、同11.9%安)
タイ	5万8571円
	(同5.1%高、同47.9%安)
モーリシャス	9万8550円
	(前年同月および前月輸入実績なし)
台湾	30万6000円
	(前年同月比6.7%安、前月輸入実績なし)

図6 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

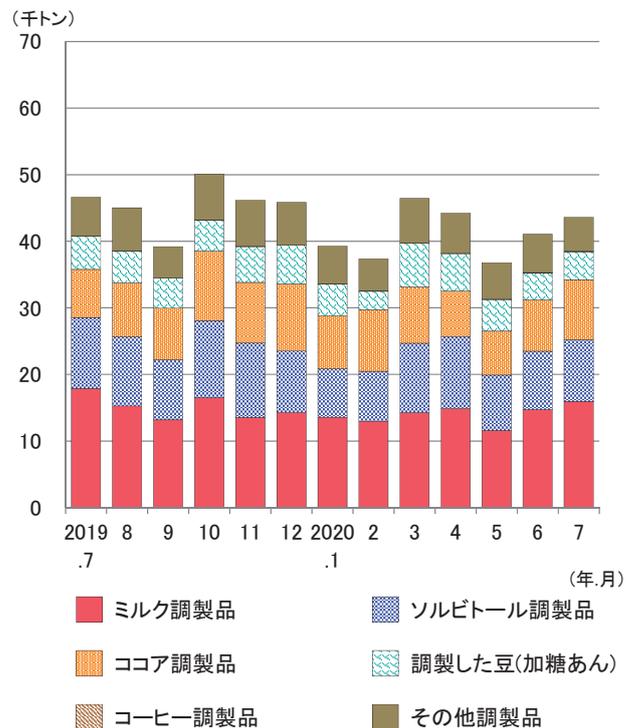
【加糖調製品の輸入動向】

7月の加糖調製品の輸入量は前年同月からかなりの程度減少

財務省「貿易統計」によると、2020年7月の加糖調製品の輸入量は、4万3612トン（前年同月比6.5%減、前月比6.3%増）であった（図7）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図7 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：各品目のHSコードは、次の通り。
ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品品目別輸入量（7月）

区分	輸入量 (トン)	前年同月比 (%)	前月比 (%)
ミルク調製品	15,954	▲ 10.7	8.4
ソルビトール調製品	9,232	▲ 13.5	5.1
ココア調製品	9,030	24.5	17.7
調製した豆（加糖あん）	4,228	▲ 14.8	3.1
コーヒー調製品	60	79.7	53.2
その他調製品	5,108	▲ 12.6	▲ 10.9
合計	43,612	▲ 6.5	6.3

資料：財務省「貿易統計」

3. 異性化糖の移出動向

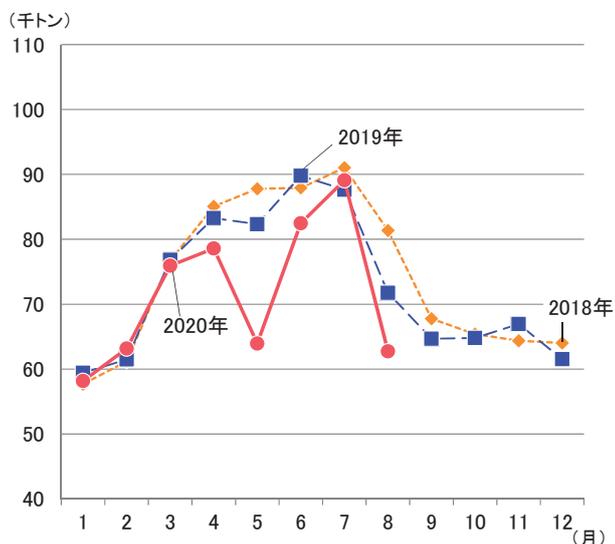
8月の移出量は前年同月からかなり大きく減少

2020年8月の異性化糖の移出量は、6万2733トン（前年同月比12.6%減、前月比29.6%減）であった（図8）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図9）。

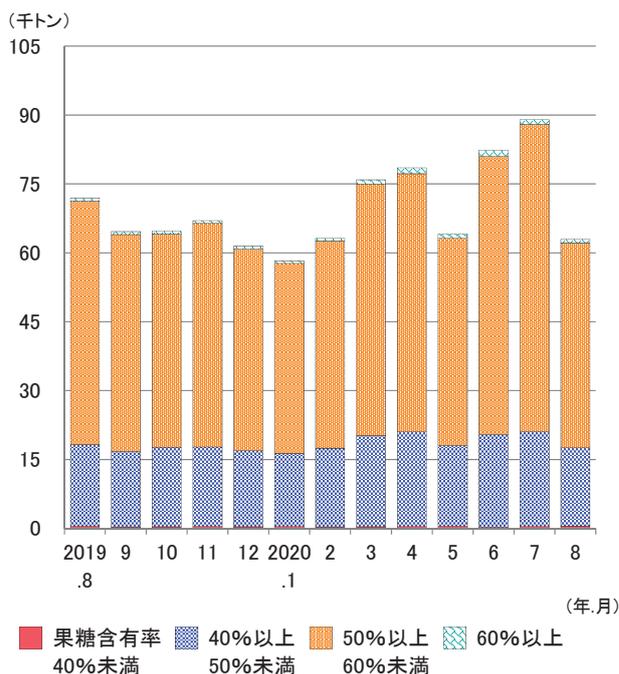
- 果糖含有率40%未満 304トン
（前年同月比0.7%増、前月比39.3%減）
- 同40%以上50%未満 1万7040トン
（同4.0%減、同17.6%減）
- 同50%以上60%未満 4万4568トン
（同15.9%減、同33.3%減）
- 同60%以上 821トン
（同9.8%増、同24.4%減）

図8 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図9 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

8月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり187~188円
大阪	同187~188円
名古屋	同191円
関門	同191円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり199~202円
大阪	同202円

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり192~193円
大阪	同192~193円
名古屋	同196円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円

名古屋 同189円

8月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

8月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で23.2円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、190.4円（前年同月差0.9円安、前月差1.5円安）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった中部との価格差は23.2円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（8月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	190.9	▲ 9.0	▲ 7.3
東北	197.7	▲ 1.9	▲ 4.3
関東など	182.2	▲ 1.9	0.1
首都圏	187.5	1.4	▲ 0.7
中部	180.5	▲ 2.6	▲ 2.3
関西	193.7	1.7	▲ 0.6
中国・四国	203.7	4.0	▲ 0.0
九州・沖縄	188.9	▲ 5.3	▲ 0.4
全平均	190.4	▲ 0.9	▲ 1.5

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

8月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で80.3円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.2円（前年同月差0.4円安、前月差1.1円安）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は80.3円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（8月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	195.6	▲ 8.7	▲ 6.7
東北	275.9	▲ 0.4	4.3
関東など	252.7	2.3	0.8
首都圏	254.1	▲ 0.4	▲ 1.0
中部	251.6	1.0	0.6
関西	231.4	3.3	▲ 0.1
中国・四国	257.6	3.0	▲ 0.1
九州・沖縄	213.4	▲ 3.6	▲ 1.7
全平均	243.2	▲ 0.4	▲ 1.1

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

8月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で44.1円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、235.0円（前年同月差0.8円高、前月差5.2円高）であった。最も高かったのは九州・沖縄で、最も安かった北海道との価格差は44.1円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（8月）

地域	平均価格	（単位：円/kg）	
		前年同月価格差	前月価格差
北海道	216.8	▲ 21.4	▲ 7.1
東北	251.8	▲ 8.7	5.3
関東など	221.4	▲ 19.9	▲ 10.8
首都圏	221.4	▲ 3.6	▲ 0.3
中部	228.7	▲ 0.8	▲ 0.1
関西	230.7	0.3	▲ 0.4
中国・四国	250.0	1.0	▲ 1.3
九州・沖縄	260.9	52.2	60.4
全平均	235.0	0.8	5.2

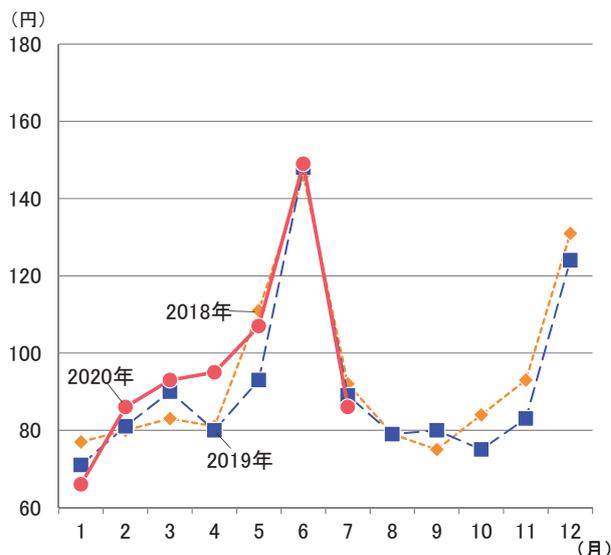
資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

【購入金額および購入量】

7月の砂糖の支出金額は前年同月と比べやや下落

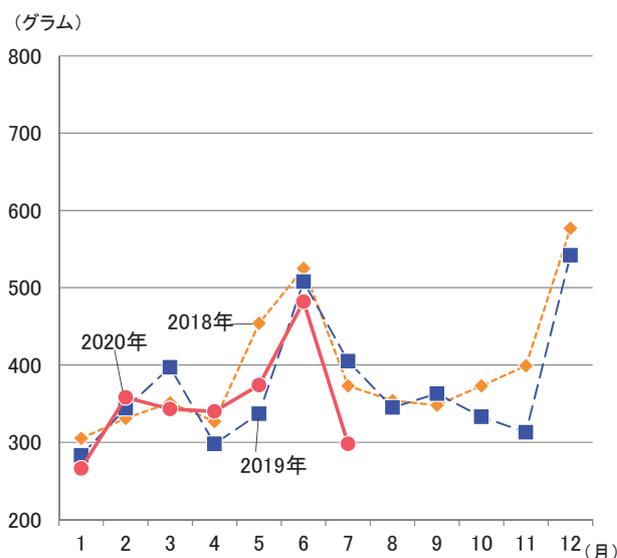
総務省「家計調査」によると、2020年7月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は35、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は86円（前年同月比3.4%安、前月比42.3%安であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、298グラム（同26.4%減、同38.2%減）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」